



今回から外国語指導助手ALTコーナーが英語文と日本語文の対訳形式となりました。
生の英語にふれて学習にお役立てください。

《弓 削》	毎週月曜日	19:30 ~	弓削地域交流センター
《生 名》	毎週月曜日	9:00 ~	生名公民館
《岩 城》	毎週木曜日	20:00 ~	岩城総合支所庁舎
《魚 島》	毎週水曜日	19:30 ~	魚島開発センター

My Adventures in Yuge : Part 1

Thinking about it now, I realize that only 2 months has passed despite it feeling a lot longer. And even though 2 months is a short time frame, I have experienced so many things. That is why I would like to take this opportunity to write about the things that I have realized and been surprised by.

In terms of lifestyle, the biggest surprise I have received is from hearing the phrase, "There are wild boars in Yuge". Although I am currently not worried about wild boars, when I first came to Kamijima because many locals were telling me, "you can see wild boars especially in the place you're living at", I became extremely afraid of seeing one. And, because of this fear a particular incident happened.

This occurred on the night I finished my first English Conversation Class in Yuge. It was already very dark and therefore, in order to avoid seeing wild boars I quickly rode my bike home while feeling very worried. Even though I had the bicycle lights on, because I was too nervous, I did not realize the figure slowly approaching me. When I did realize however I immediately thought it was a "wild boar" and turned the handle quickly in order to avoid it. But, I fell over instead. In a dazed state, I looked at the "wild boar" I tried to avoid only to discover that it was just a traffic cone...How silly of me! Through this experience though, I decided to not worry too much about seeing a wild boar.

This was Part 1 of "My Adventures in Yuge". Please look forward to Part 2!

僕の弓削でのアドベンチャー パート1

今考えましたら、ただ2ヶ月ぐらい経ちましたが、もっと長く感じています。2ヶ月は短い間なのに、たくさんのことが経験できましたので、気づいたこととビックリしたことについてこれから書きたいと思います。

生活に関しては、最もビックリしたのは「弓削にイノシシがいる」とよく聞く話です。今は、もうイノシシのことを心配していませんが、上島町に来た時、周りの人は「イノシシが見えるよ。特に住んでいるところで」などと僕に言ってくれましたので、イノシシを見るのがどんどん恐ろしくなってきました。その恐ろしさのせいでこのようなことがありました。

あの夜は初めての英会話が終わった時にもう暗くなりましたので、イノシシに会わないように心がドキドキしながら、自転車で早く帰って行きました。自転車のランプがついていましたが、僕は緊張しすぎたので、前にあるどんどん近づいてくる姿に気づきませんでした。そのせいで、気づいた瞬間には「イノシシだ!」と思ってしまいまして、避けるためにハンドルを切りましたが、逆に転んでしまいました。ケガが一つもない僕は(自転車も大丈夫でした!)ボウッとしながら、先に避けようとした姿をちゃんと見たら、ただ工事のコーンでした。バカだねと思いました。でも、この経験のおかげで、イノシシを見るのを心配し過ぎないように努力することにしました。

今までは「僕の弓削でのアドベンチャー」のパート1なので、パート2を楽しみにしてください。よろしくお願いします!

文・訳：クワチ・デイビッド

(これは、ALTの原文を載せています)



こんにちは 町長です

先日、大学の同級生と久しぶりの長電話をしました。私が所属していた少林寺拳法部の同窓会への連絡だったのですが、彼の話がとめどなく続きました。

実は、彼の奥様は若くして昨年の十一月に亡くなってしまいました。電話口から「良い嫁だった、良い嫁だった」の繰り返しで...

奥様も同じ大学の同級生で私も良く知っていた方でした。彼から「先日も学生時代に過ごした下宿付近を一人で歩いてきた」という話に、今でも変わらぬ気持ちで、諦め切れずにいる心情が痛いほど伝わってきました。

電話の最後に「上村、奥さんを大事にしろよ」という言葉もあり、改めて私の恵まれた環境を認識させられました。

人間、一人では生きていけないように創られているのではないだろうか。母や父、兄弟や家族、友人や恋人などに支えられて生きています。もちろん私も、家族をはじめ多くの方々に守られています。その恵まれた環境の中で、今、私が成すべきことは、町民の皆様への奉仕だと心に刻んでいます。

自らのために全力で走りぬいた者が、次にやるべきことは社会への奉仕です。私が子供を成人させるまで全速力だったかどうか、今思えば疑問符がつくかも知れませんが、これからやらなければならぬことは分かっています。

私の友人の為にも、頑張ります。



上島町長 上村俊之